

名古屋大学生物機能開発利用研究センター「環境システム生物学的研究室」・

助教（女性限定）公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック） 女性限定公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 環境システム生物学的研究室	
4	募 集 内 容	生物機能開発利用研究センターでは、男女共同参画を推進するため、女性教員を下記のとおり募集します。 [職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） 生物機能開発利用研究センターでは、高等動植物がもつ様々な生物機能に関する基盤的研究を推進し、社会実装を見据えた応用・開発研究へと展開することによって、産業活性化、社会還元、国際貢献を実現することを目的とする研究活動を行っています。 その中で「環境システム生物学的研究室」では、食料・環境問題の解決や産業活性化を目指し、主として植物を対象に、先端的な大規模オミクス解析や環境制御技術、数理統計解析を駆使したシステム生物学的研究を推進しています。 今回公募する助教（テニュアトラック）には、大規模なオミクスデータの取得、解析を中心とするシステム生物学的研究で優れた研究業績を挙げつつあり、実験とデータ解析の両面から当該研究室のさらなる発展に貢献できる人物を求めています。 また、大学院生命農学研究科の大学院生の教育と研究指導を担当するとともに、学部教育にも協力して頂きます。 （変更の範囲） 東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 助教（テニュアトラック）・1名	
		[着任時期] 決定後できるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	農学、生物学
		小分類	生産環境農学、基礎生物学およびその関連分野
6	勤 務 形 態	常勤（テニュアトラック） 任期6年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与する。本制度の規程については、次をご覧ください。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001177.htm	

7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・女性であること ・博士学位を有していること ・分子・細胞レベルを対象とした農学、生物学研究において研究業績を有する者。 ・大学院生の教育と研究指導に熱意と責任感を持って取り組み、学部教育にも協力できること
8	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	令和7年6月30日～令和7年8月29日13:00（日本時間：必着）
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書 （3）研究業績リスト ※履歴書、研究業績リスト（受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他を含む）は下記から所定様式をダウンロードしてください。 http://bbc.agr.nagoya-u.ac.jp/contact-access/index.html 「競争的資金等の研究課題」は、過去の研究費獲得状況を記載してください。 （4）現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（500字程度） （7）社会連携、国際協働についての考え（500字程度） （8）応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス （9）類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「11. その他」欄を参照のこと。 （10）論文等のPDFファイル（主要なもの3編程度） [書類送付先] 上記の提出書類（1）～（9）を1つのPDFファイルにまとめ、主要論文のPDFファイル（10）とともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。メールのタイトルは「環

		境システム生物学助教応募 応募者の氏名」としてください。また、ファイルサイズは全体で 50M バイトを超えないようにしてください。どうしても超えてしまう場合には、予めご連絡ください。 送付先アドレス（電子メール）：cenkoubo_nagano@agr.nagoya-u.ac.jp [問い合わせ先] 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 環境システム生物学的研究室助教選考委員会 委員長 永野 惇 電子メール： anagano@agr.nagoya-u.ac.jp ※ 応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。なお、お問い合わせは、委員長宛に電子メールでお願いします。
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施することがあります。なお、交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則電子メールで連絡します。
11	そ の 他	・当センターでは、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、次をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html の「様式 1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、選考後に本選考委員会が責任を持って処分します。